

PMR 資格試験への挑戦

株式会社日立製作所
公共システム事業部 担当部長
すどう つよし
須藤 毅



1. 受験の動機

私が PMR 資格試験について興味を持ったのは 2017 年春頃だったと思います。それまで 10 年ほど、プロジェクトマネージャーとしていくつかのプロジェクトを経験してきておりました。今後数年間のうちに、複数の大規模プロジェクトを統括する予定があり、PM を育成する立場にもなることから、プログラママネジメントに関する研修や教育を調べていたところ、P2M について知り、PMR 資格試験に興味を持つようになりました。PMR 資格試験について名前や存在は知っていたものの、プログラママネジメントに関する資格であることを知ったのはその時が初めてです。当初は高額な受験料に躊躇していたこともありましたが、PMR 試験紹介セミナーを受け、自分の目的に合った資格であったことから受験を決めました。

2. 受験の感想

PMS 資格試験受験も含めて、PMR 資格試験合格まで約 9 ヶ月ほどでしたが、当初は試験不合格や非開催により、数年がかりの資格取得になったらどうしようという不安が少しありました。そんな中、PMR 試験紹介セミナーや P2M 実践力養成研修での他の受験生との出会いが、受験に対する大きな励みになりました。セミナーや研修における他の受験生の方との交流や意見交換がモチベーション維持につながりました。研修や資格試験で一緒となった他の受験生の方には大変感謝しております。

PMS 資格試験や PMR 資格試験の情報は少なめで、最初は試験対策に少し悩みましたが、PMR 試験紹介セミナーや P2M 実践力養成研修が役立ったと思います。結局、試験対策として実施したことは、PMS 資格試験・PMR 資格試験前の P2M 標準ガイドブックの一読と、PMR 資格一次試験前の P2M 実践力養成研修の振り返りの 2 点でした。

PMR 資格試験を受験して良かったと思うことは、他の受験生の方との交流に加えて、日ごろの仕事と違った目線で物事を考えることができ、自分に対する刺激となったことです。特に PM 育成に関心があったことから、P2M の人材能力基盤やタクソミーのお話は参考になりました。

2. PMR としての展望

今後は、複数の大規模プロジェクトを統括するプログラママネージャーとして、社会に貢献できる IT サービスを提供し続けていくとともに、若手プログラママネージャーの育成にも励み、日本の IT 産業の発展に尽力していきたいと考えています。

以上

【プロフィール】

株式会社日立製作所 公共システム事業部 担当部長
2017 年 6 月 PMS プログラム試験合格、2018 年 3 月 PMR 試験合格
入社以来、主に公共関連の IT システム、IT サービスのプロジェクトマネージャーや IT アーキテクチャーとして従事。